

令和6年度

## 第63回長野県中学校新人大会

### 南信地区大会ソフトボール競技 実施要項

1 期 日 令和6年9月21日(土) ※予備日 9月22日(日)、23日(月)

2 競技役員

会場責任者	大澤 忠史 (旭ヶ丘中学校長)
競技委員長	小池 一友 (伊那中学校)
競技副委員長	藤森 祥平 (旭ヶ丘中学校)
競技役員	塩澤 慶和 (高陵中学校)
審判員	長野県ソフトボール協会公認審判員

#### 3 参加資格

長野県中学校体育連盟に加入する中学校・地域クラブ活動に在籍している生徒で、年齢および修学年数が我が国の中学校と一致しており、学校長が参加を承認したもの、または長野県中学校体育連盟が参加を承認した地域クラブ活動であること。

4 会 場 東原キッツグラウンド

※予備日 22日(日)東原キッツグラウンド 23日(月)富士塚スポーツ公園

#### 5 競技規則(規定)

##### (1) ルール

ア (公財)日本ソフトボール協会2024年度オフィシャル・ソフトボールルールに準じる。

イ 試合は総当たり戦とし、3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差がついた場合にはコールドゲームを適用する。

ウ 7イニング、または80分とし、80分を経過して新しいイニングに入らない。

##### (2) 用具

ア 使用球はゴム製検定3号球とし、内外ゴムとする。なお、試合球は主催者側で用意する。

イ バット、ヘルメット等の競技用具は、審判員が試合前に確認する。規格外または危険と思われる用具は試合終了まで球場本部席で預かる。

ウ 金属及びセラミック製スパイクは禁止する。

##### (3) 監督、コーチ

ア 抗議権は監督のみに認める。抗議はルール適用上の疑義に限り、判定の正確性についての抗議はできない。

イ 外部指導者(コーチ)の登録は1人のみとする。

ウ コーチにはフィールディングは認めるが、選手交代・タイムの取得・抗議等の権限はない。

エ コーチはベンチラインから出て指示してはならない。

オ ベンチ内でのメガホンの使用は、監督のみ、1個に限る。

カ コーチーズボックスに入るのは選手に限る。

##### (4) 応援

ア 笛、太鼓、ペットボトル、メガホン、うちわ等の鳴り物を用いた応援は禁止する。

イ 投手がセットしたら投球するまで応援を中断すること。

##### (5) その他

ア フィールドイングは、試合毎行うことができる。時間は5分間、後攻のチームから行う。

イ 外野ネットは貼らず、外野ライン(61m)を引く。(ノーバウンドで越えた場合はホームラン、バウンドして越えた場合は2ベースヒットとする。

ウ 給水タイムは、当日の気候により、朝の監督会議にて詳細を決定する。

給水タイムでは、監督・コーチなどはコーチーズボックスに移動し、選手に対しての指示は禁止とする

## 6 引率責任者及び監督

- (1) 引率・監督は当該校の校長、教員、または部活動指導員とする。ただし、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、承認した外部指導者の引率・監督を認める。  
(長野県中学校総合体育大会・地区大会・新人大会引率規定に準じ必要な手続きを行う)  
※地域クラブ活動の場合は、登録した指導者であること。  
※外部指導者は出場校の校長が認めた者とし、所定の「指導者承認書」に必要事項を記入し、大会事務局に提出する。ただし、当該校以外の中学校教員は、外部指導者になれない。
- (2) 引率者・監督・外部指導者（コーチ）・トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者または学校設置者から懲戒処分を受けていないものであること。なお、外部指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

## 7 チーム構成

- (1) 選手は18人までとする。
- (2) ベンチに入れる人数は選手18人以内、監督1人、コーチ1人、引率責任者1人とする。  
※スコアラーを出す場合は、試合に出場しない中学生から1人出すこと
- (3) ユニフォームナンバーは主将が10、監督が30、コーチは31または32を付け、主将以外の選手は10・30・31・32を除く1～99を付ける。

## 8 表彰 3校に南信地区中学校体育連盟会長より賞状を授与する。

順位については、

- ①勝ち点（勝ち3、引き分け1、負け0） ②直接対決 ③失点率 により決定する

## 9 組み合わせ

時間	対戦
第1試合	高陵・旭ヶ丘中 — Neo Wings
第2試合	伊那中 — Neo Wings
第3試合	伊那中 — 高陵・旭ヶ丘中

※左側が1塁側、右側が3塁側のベンチとする。  
※2・3試合目については、前の試合の終了30分後にベンチ入り、シートノックについては連続するチームは希望する場合は実施。

## 10 日程

- (1) 天候判断 前日16:00  
※順延の場合のみ、各チームの連絡責任者に連絡を行う。  
※当日の可否は5:00に、各チームの連絡責任者に連絡をする。
- (2) 監督会議 8:00
- (3) 開会式 ベンチ前で整列して短時間行う
- (4) 競技開始時刻  
①第1試合 9:30 ②第2試合 11:30 ③第3試合 13:30
- (5) 閉会式 表彰・連絡を行う
- (6) 解散 片付けが終わり次第解散 16:00予定

## 11 熱中症対策・感染症対策・頭部打撲対応・雷対策

I 熱中症対策 ※情報収集 環境省：熱中症予防情報サイト <http://www.wbgt.env.go.jp/>

○当日対応 WBGT測定器の設置

- ・対応① - 選手・応援者への注意喚起（水分補給、涼しい場所での休憩等）

・対応②－ WBGT値の上昇が予想される場合

選手の健康管理・健康観察に注意を払い、異常がある場合は速やかに対応するよう各校へ伝達する。

・対応③－ WBGT値が上昇してきた場合、換気等の対応を適宜行い、更なる上昇に備え対応④の準備をする。

・対応④－ WBGT値29に達した時

競技部長・委員長で協議し、31に達した場合の競技運営について決定する。

・対応⑤－ WBGT値31に達した時 <中断>

対応③と同様、併せて選手・来場者・監督・役員等の健康観察を行い、異常があれば対応する。

(1)監督会議等で、上記対応を周知し、(2)を徹底する。

(2)各校の責任において、競技開始前に出場選手の健康チェックを行い、体調不良の状態では競技に出場させない。

(3)体調に異常を来した場合の救護室等の場所を会場内に周知する。

(4)救急車要請の準備や、敷地内の救急車進入路等の確認・確保を行う。

## II 感染症対策について

(1)臨時休業中の大会参加については、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症に罹患した選手以外は、検温等により健康観察を行い体調不良でないことを確認するとともに、学校医等の医療機関の意見を参考に市町村教育委員会と協議の上、学校長の判断により公式大会に参加できる。地域クラブにおいても、罹患した者以外は体調を確認し、保護者の承諾を得て、代表者の判断により公式大会に参加できる。

(2)大会に参加する選手・指導者の健康状況を確認し、発熱・咳等がみられる場合、参加を見合わせるよう配慮する。

(3)大会参加に際しては、各チームで、検温・うがい・手洗い等を励行し、積極的に感染予防策を講じる。

(4)大会期間中にも選手・指導者の健康状況をこまめに確認し、体調不良を訴える場合は速やかに帰宅させる等の措置をとる。

(5)保護者についても、選手・指導者と同様の協力をお願いする。

(6)原則として、感染症対策としての保護者・教職員等の観戦制限は設けない。ただし、各競技の特性（身体接触が多い）や会場の都合等により、競技ごとに対応が異なる場合がある。

※ 今後の感染拡大状況等により、上記の内容は変更になる可能性がある。

## III 頭部打撲対応について ※ 原則医療機関を受診する。受診後は医師の指示に従う。

(1)頭部への外傷が見られた場面で一度プレーを止め、会場責任者・顧問（監督）・救護で選手の様子を確認し状況の把握をする。

(2)必ず該当選手の保護者と連絡をとり、状況説明を含め、一緒にどのような対応をとるか相談する。（原則保護者の方に来ていただく）

(3)その内容をもとに大会責任者が競技の続行か中止の判断を行う。競技を行う場合は、顧問はじめ該当選手の動きを注視する。競技を中止する場合は受診を勧める。

## IV 雷対策

試合中、雷が鳴った場合は直ちに競技を中断し、安全な場所へ避難させる。その後の協議の再開等については、大会長・専門委員・救護・審判で協議して決定する。